



# NPO法人ジャパンデンタルミッション

## 海外活動報告書

場所 ヴァヌアツ タンナ島

期間 平成25年7月13日(土)～24(水)

参加者メンバー

上段左からVO富本恵莉 Dr 関根淳 DH大西富 DH小西あゆみ VO辻本供代  
下段左から VO斉藤勝一 VO古森淳一 Dr 沢田宗久 合計8名



### 活動内容

7月13日(土)

関西組5名が7時20分関西国際空港に集合し、9時20分香港に向け出発。香港12時20分着。次のフライトまで6時間程あるので、町に出て食事をする。19時00分シドニーに向け出発。

7月14日(日)

シドニー6時20分着。関西組別便の2名と空港内で合流し、7名で10時45分ポートビラに向け出発。ポートビラ15時10分着。空港でローリー氏、DRラッセル氏が迎えてくれ、メラネシアホテルに移動。

夜遅く関東からDr 関根がホテルに到着し、メンバー8名全員が揃う。

7月15日(月)

Dr 沢田、VO古森、Dr ラッセルは、政府・保健省とミーティングの為、ポートビラに残り、他6名は10時25分タンナに向け出発。タンナ11時05分着。迎えのドライバーが私たちを待っていてくれ、荷物、機材とも問題なく運ぶ事が出来た。宿舎に移動中、市場で水、米、野菜など買う。

今年の宿舎はラナケル病院前で移動時間がなく活動しやすい場所を与えてもらう。それぞれに診療所、宿舎のセッティングを始める。宿舎は、ベトナム人で薬剤師をしている人が使っている場所を借り、冷蔵庫も使わせてもらえた。診療所は、昨年ポータブルのタービンの調子が良くなかったようで、1年の保管時間で直す事なく、水が出なくなっていた。早めに持ち帰り修理するようにしたい。翌日に向けての準備も整い、夕食後、Dr 関根のカルテ記入のシミュレーションの特訓があり、VO辻本、VO富本、VO斉藤は真剣に取り組んだ。



7月16日(火)

午前の活動9時00分より診療所で治療を始める。Dr 関根と共にメンバー慣れない中、治療・アシスト・クリーニングをする。Dr 関根は、残せる歯は出来るだけ残したい。子供の抜歯は、親に説明し確認の上で処置をしたいと、これからのヴァヌアツの未来を考えながら治療に取り組んだ。

昼前にDr 沢田、VO古森、Dr ラッセルが病院に到着し、抜歯・充填・クリーニングと大忙し。

午後の活動14時00分よりDr 関根、DH大西は診療所で治療を始める。外回りラナケル小学校は、Dr 沢田、Dr ラッセル、DH小西、VO古森、VO辻本、VO富本、VO斉藤が行く。60名ほどの健診とドネーション(歯ブラシ・サッカーボール・クレーパス)をし、文化交流では、南山本小学校の生徒が作った福笑いをおもしろ可笑しく説明した。ラナケル小学校の生徒にも、最終日まで福笑いを作ってもらおう。歯磨き指導もし、最後には、国歌ユーミンを歌ってくれた。最高のプレゼントだ。診療後、VO富本とVO斉藤は、近所の子供達と賑やかにサッカーや縄跳びをして交流を深めた。

エラー!





7月17日(水)

9時00分より、Dr 沢田、Dr ラッセル、DH小西、VO 古森は診療所で治療を始める。外回りイサンゲルは、Dr 関根、DH大西、VO富本、VO 斉藤が行く。歯ブラシ、サッカーボールのドネーションと健診をする。イサンゲルは仏語で教育されている学校で、今回DH大西は、仏語で、虫歯の説明・歯磨き指導をする為に、日本で以前から準備・練習をしてきた。VO富本も手伝い、かなりの手応えがあり生徒たちに、良く伝わったようだ。

14時00分よりDr 関根、DH大西、VO富本は診療所で治療を始める。

午後からは、来院される人が減った時に様子を見て、Dr 関根、VO富本はラナケル小学校に残りの生徒の健診に行く。外回りICPSは、Dr 沢田、DH小西、VO古森、VO辻本、VO 斉藤が行く。歯ブラシ・サッカーボールのドネーションと健診をする。DH小西は簡単な英語を、VO古森の通訳の助けを借りながら歯磨きの練習をした。



7月18日(木)

9時00分よりDr 沢田、Dr ラッセル、DH小西、VO古森は、診療所で治療を始める。外回りラブリットは、Dr 関根、DH大西、VO富本、VO斉藤が行く。歯ブラシ・サッカーボールのドネーションと健診をする。この学校も仏語で教育されているので、DH大西は仏語で虫歯の説明をしたが生徒たちの反応が良くなかった。彼らは、虫歯の事を良く知らなかったからだ。まず、虫歯とは？からの説明をした。

14時00分よりDr ラッセル、DH小西は診療所で治療を始める。Dr 沢田、VO古森はラナケル小学校に最後の健診に行く。

午後からは、クリーニングを希望する人が、多数来院された。外回りロカタイは、Dr 関根、DH大西、VO富本、VO斉藤が行く。歯ブラシとサッカーボールのドネーションと健診をし、歯磨きの練習をした。

診療終了後に雨が降り、その後タンナの空に大きな虹が架かった。

16時00分ヤスール火山に向け出発。道中、雨・風が強く火口まで行けるのか？不安な気持ちでトラックを走らせたが、なんとか噴火口まで登って行くことが出来た。暗闇の中、真っ赤なマグマが噴火し爆音が胸に響き、自然の強さ・怖さに立ちすくんだ。宿舎に戻ると、VO辻本が出発前に、たくさんのおにぎりを作っていてくれ、メンバーの胃袋も満足し、ヤスール火山の感動を分かち合った。

VO辻本は、火加減、水加減を調整し鍋でご飯を炊き、野菜や芋を和風だしで炒め煮したり、毎朝の断水で困らないよう水を鍋いっぱい溜めたりと、メンバーの活動を支えた。





7月19日（金）

宿舎、診療所の後片づけが始める。

在庫の確認をし、来年の活動の為に整理しコンテナに詰める。Dr 沢田、VO古森は、ラナケル小学校に頼んでいた福笑いを取りに行く。11:00現地の人たちにお別れをしながら、空港近くにあるホテルで食事をし、フライトまでの時間をゆっくり過ごした。

16時20分ポートビラに向かうはずの飛行機がエンジントラブルで動かず、タンナに足止めされる。メンバー8名オーシャンビューロッジに泊まる事になる。VO古森が頭痛・吐き気に襲われ仮眠を取る。他メンバーは食事に出かけ、戻るとVO古森の体調も回復し、メンバーは安心した。



7月20日（土）

前日のキャンセルの事もあり混雑が予想された。9時30分チェックアウトし早めにチケットの手続きをした。13時00分ポートビラ出発のはずが、15時00分頃になり、VO古森、VO辻本はシドニーに、Dr 関根はヌーメアに乗り継ぐ飛行機に間に合わず、メンバー8名メラネシアホテルに泊まる。日本の家族やメンバー、旅行会社に連絡をする。

7月21日（日）

早朝、VO古森、VO辻本はシドニーを経由し日本へ。他メンバーは航空会社との手続きをする為に8時30分ホテルを出発する。Dr 関根は16時00分ヌーメアを経由し日本へ。関西組5名は、13時00分オークランドに向け出発。オークランド5時00分着。すぐカウンターに行き、ヴァヌアツ航空の遅延証明書を見せチケットの変更をお願いしたが、明日10時にならないと担当が来ないので手配出来ないと、空港前にあるホテルに泊まる。

7月22日（月）

9時30分チェックアウトしカウンターに向かう。日本の旅行会社と現地のスタッフとの交渉のやり取りが続き、新たに1人40万円×5名分の正規のチケットを買わないといけなと言われ、他のルートで安いチケットを探したりしたが、最終的には、1人2万円程の追加料金を支払う事になった。予定より3日遅れになるが帰国出来る。再度、ホテルにチェックインし町に昼食兼夕食を摂りに出かける。夜、日本からホテルのフロントにEチケットがFAXで届き、やっと安心して眠れた。

7月23日(火)

13時25分香港に向け出発。香港21時05分着。

7月24日(水)

1時45分関西国際空港に向け出発。関西国際空港6時25分着。関西組5名、たくさんの人に迷惑をかけ、助けられて無事に帰国することが出来た。解散式後、それぞれ自宅に向かう。家に帰るまでが、JDM。

DH 小西あゆみ

### 〈Dr 沢田リーダーの総評〉

今回のJDMの活動の参加者は歯科医師2名、歯科衛生士2名、ボランティア4名、現地歯科医師ラッセル氏、総勢9名で、7月13日から24日まで行った。

関空⇒香港⇒シドニー⇒ポートヴィラに到着、Dr 関根は去年同様ニューカレドニア経由で夜10時過ぎに到着し、翌日からタンナ島に向かい活動を行った。

ボランティア4名の内2名は、奈良県の生駒ロータリークラブのメンバーで主に通訳と飯炊きとして参加、後の2名は中学生と大学生でした。

特に、古森氏は海外との仕事の関係で英語が堪能で通訳をして頂き大変助かりました。辻本様はご高齢にも関わらず、朝・昼・晩と3度の食事を作って頂いたおかげで我々は医療活動に専念することができた。Vo 富本、Vo 斉藤の学生達は歯科助手や学校健診時のカルテ記載、荷物の運搬等を行い、それぞれのモチベーションを十分に発揮していた。

今回の学校健診は英語系の小学校、レナケル・ICPS・ロカタイとフランス語系小学校イサングル・ラブキットの5校でした。DH大西はフランス語で媒体を作製し虫歯の説明、歯磨き指導を行う為に日本でかなり前から準備、練習を行っていた。Vo 富本もフランス語の通訳を手伝い生徒達に良く伝わったようである。

八尾市立南山本小学校とレナケル小学校間で毎年行っている文化交流は今年は福笑いを行った。日本から15セットの福笑いを作製し、使い方を生徒達の前でデモンストレーションしたが、なにぶん初めて見る為に生徒達の目が点になっていた。二日後にレナケル小学校の生徒が作った福笑いを頂きに行った所、人の顔がもとより、椰子の木、サトウキビ、パパイヤ、バナナといった日本とは違った手法で作製していて、大変おもしろい作品である。

Vo 富本、Vo 斉藤は健診やドネーションを手伝ったり、生徒達とサッカー、バレーボール、縄跳び等をしたり、現地の子供達と仲良くなり、お互いに交流をはかっていた。これば本来のボランティアを通じての青少年育成であると思った。

今回ヴァヌアツ政府、保健省、教育省とのミーティングを3回行ったが、以前からの課題である、ウォータータンク・プロジェクト(雨水を溜め生活用水とするタンクを山間部に普及する活動)の件について随分突っ込んだ話になり、ヴァヌアツ政府として是非とも実現したいとの要望であり、我々としても来年7月の活動時にドネーションできるように努めて行く事を約束した。

今回活動中に大きなトラブルに見舞われました。タンナ島からポートヴィラに帰る時、ポートヴィラからタンナ島に向かう飛行機がエンジントラブルを起こし丸一日遅れでポートヴィラに到着、その為ニュージーランドのオークランドでチケットの関係で2日遅れた。

その間に航空会社・旅行社と我々とでやりとりをして、結局3日遅れて帰国しました。

その為に、ご家族・勤務先・関係者の皆様方に随分ご心配、ご迷惑をおかけいたしました。全員無事に帰国できましたことに感謝しています。

### 2013年TANNA治療データ

|         | 7月16日 | 7月17日 | 7月18日 | 7月19日 | 総数   |
|---------|-------|-------|-------|-------|------|
| 抜歯      | 18    | 21    | 30    | 0     | 69本  |
| 充填      | 5     | 18    | 13    | 1     | 37本  |
| スケーリング  | 15    | 9     | 16    | 0     | 40人  |
| チェックアップ | 1     | 8     | 2     |       | 19名  |
| 受信者数    | 27名   | 41名   | 50名   | 1名    | 119名 |

### 2013年TANNA小学校歯科保健データ

| 2013年 | 健診人数 | DMF  | DMFT 指数 | DMF歯率 |
|-------|------|------|---------|-------|
| レナケル  | 193  | 248  | 1.28    | 5.13% |
| イサンゲル | 223  | 202  | 0.905   | 3.96% |
| ICPS  | 89   | 123  | 1.382   | 5.28% |
| ラプキット | 46   | 70   | 1.47    | 6.67% |
| ロカタイ  | 120  | 91   | 0.733   | 3.03% |
| 5校    | 671名 | 734本 |         |       |